

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課						
	作成責任者	山中 忠雄						
	事業名	市バス運行事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 120110	決算付属資料 82	頁
	施策体系	施策コード 030202	施策名 利用しやすいバス交通を確保する					
	開始年度	平成18年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	福知山市地域公共交通網形成計画						
	根拠法令等	道路運送法						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	民間バス運行事業者の廃止代替路線として旧3町から引き継いだ路線バスを継続して運行することにより、山間地等の交通不便地域の生活交通を確保し、移動手段を持たない高齢者や学生等の利便性の維持・向上を図る。					
	対象者	三和、夜久野、大江地域住民及び当該地域への移動のための市バス利用者数	対象者数	40,711	単位あたりコスト	1.5	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	㈸チームワーク					
	事業概要	三和地域4路線、夜久野地域3路線、大江地域2路線、大江鬼楽バス5路線の市バスを運行する。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		需用費	車両修繕料、車庫光熱水費等			3,070	
役員費		車両法定点検手数料、損害賠償保険料等			140		
委託料		バス運行業務等			53,363		
使用料及び賃借料		バス車庫使用料等			108		
公課費	公課費(重量税)			165			
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	60,669	62,066	54,784	51,028	44,238
	②補正予算			0		
	③流充用額	146	△ 398	2,081		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	146	0	2,081	0	0
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	11,766	12,230	9,566	9,498	8,521
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特財	48,903	49,438	45,218	41,530	35,717
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称 市町村運行確保生活路線維持費補助金	種類 府支出金	実績金額 10,801	決算付属資料 22	頁	
	特財名称 市バス運行事業基金繰入	種類 基金繰入金	実績金額 3,866	決算付属資料 36	頁	
人件費	0.76/0	0.76 / 0	0.53 / 0	0.53 / 0		
⑤概算人件費	6,080	6,080	4,240	4,240		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	66,895	67,748	61,105	55,268		
⑦執行額	60,815	61,668	56,846			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	99.97%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		市バス利用者数	人	40,130/56,000	42,216/56,000	40,711/56,000	/ 56,000	56,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		1日当たり市バス運行便数	本	62/62	53/62	50/50	/ 42	30
単位あたりコスト			980.9	1,163.5	1,136.9			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	高齢者や学生等の移動手段を確保するとともに、地域活力を維持するため地域の生活路線を維持する必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	京都府補助金や過疎基金を活用して運行している。市の実質負担額は過疎基金充当額のうち交付税算入見込の70%を除く額であり、効率的に実施している。 また、実情に応じた再編を進め、効率化を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	人口減少や高齢化も影響して利用者数は減少傾向にあるが、公共交通の地域における必要性は依然として高く、地域の生活環境を維持する上で移送手段の確保は必須である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	公共交通は、自動車等の移動手段を持たない交通不便地域の高齢者や学生等にとってなくてはならないものである。しかし、路線バスの利用者数は減少傾向にあり、それぞれの地域の特性に応じた効率的で利便性の高い他の移動手段の導入を検討し、転換を図っており、成果実績の達成は困難な状況である。今後、転換の方向性をそれぞれの地域で定めていく中で目標の再設定を検討していく。		
今後の課題及び方向性	福知山市の路線バス再編の基本方針である「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、市バスについては平成29年度から随時再編を実施している。具体的には、三和地域においては、利用が少ない便の減便等を行い、その代替移動手段として公共交通空白地有償運送や令和元年度からはスクールバス一般混乗を導入しており、今後は他地域での展開を検討している。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課						
	作成責任者	山中 忠雄						
	事業名	公共交通維持改善事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 120116	決算付属資料 82	頁
	施策体系	施策コード 030202	施策名 利用しやすいバス交通を確保する					
	開始年度	平成18年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	福知山市地域公共交通網形成計画						
	根拠法令等	道路運送法						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公共交通の利用者は年々減少傾向にあり、持続可能な地域公共交通を確保するために、地域の実情と市民ニーズに対応した交通体系の再編と利用促進が求められている。本事業では、本市の公共交通再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、公共交通の維持及び改善に関する事業を展開する。					
	対象者	路線バス利用者	対象者数	573,473	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	福知山市地域公共交通会議					
	事業概要	バス路線の維持確保を目的に、市内で路線バスを運行する事業者に対し、国・府と協調しながら財政支援を行った。 公共交通の利用促進を目的に、市内を運行する路線バスと鉄道の路線及び運行時間等を掲載したバスマップ付時刻表を作成、配布した。 道路運送法の規定に基づき、専門的立場の関係者による地域公共交通会議を開催し、路線バスの路線変更、運賃改定や利用促進、また交通手段を持たない人に配慮した交通システム導入等に関する協議、調整、検討等を行った。 本事業は、平成30年度に「地方バス路線運行事業」、「市内バス時刻表作成事業」、「地域公共交通会議開催事業」の3事業を統合したものである。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		運行維持費補助金	民間バス、自主運行バスの収支欠損に対する補助金			59,544	
時刻表印刷製本		バスマップ付時刻表作成(5,000部)			432		
委員報酬		地域公共交通会議委員報酬			288		
旅費、移動費		公共交通に関する協議等のための出張旅費、移動費			201		
関連事業	敬老乗車券事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	1,107	1,106	1,229	1,049	20,877
	②補正予算			60,913		
	③流充用額	68,248	55,671	50		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
予算と執行の状況	一般財源	54,405	50,134	54,767	1,022	20,851
	国支出金	468	216	0	0	0
	府支出金	14,424	6,400	7,398	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特財	58	27	27	27	26
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称 市町村運行確保生活路線維持費補助金	種類 府支出金	実績金額 7,398	決算付属資料 22	頁	
	特財名称 公共交通維持改善事業(みらい戦略一括交付金)	種類 府支出金	実績金額 440	決算付属資料 22	頁	
人員費	0.96 / 0	0.96 / 0	1.75 / 0	1.75 / 0		
⑤概算人員費	7,680	7,680	14,000	14,000		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	77,035	64,457	76,192	15,049		
⑦執行額	68,990	56,611	60,586			
執行率 (⑦/⑥×100)	99.5%	99.7%	97.4%	0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			市民一人あたりの年間路線バス利用回数	回	6.8/7.0	7.6/7.0	7.3/7.0
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	補助金額(運行維持費のみ)	千円	52,705/54,762	55,503/54,762	59,544/54,762	/ 54,762	54,762
		単位あたりコスト	1.3	1.0	1.0		1.1
	時刻表配布冊数	冊	40,000/40,000	7,000/5,000	5,000/5,000	5,000	5,000
		単位あたりコスト	1.7	8.1	12.1		12.1

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	移動手段を持たない高齢者や学生等の移動手段を確保する必要があり、そのためには、財政支援による公共交通の維持や、バスマップの作成による利用促進が必要である。 また、公共交通再編にあたっては、地域住民や運行事業者等様々な視点からの意見を交流する法に基づいた会議の開催が必須となっている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	運行事業者への財政支援は、国、府及び隣接市町と協調して行っている。また、別々であった路線図と時刻表を一体化することでコストを削減し、さらに、民間バス事業者の有料広告を掲載し、財源確保に努めている。 地域公共交通会議で協議が調った事項については、運輸局の承認等が短時間かつ円滑になり、有効な事業である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	財政支援を行うことで路線バス等の生活移動手段を維持・確保し、市民の利便性、地域活力の確保に寄与している。 まちなか循環バス等一部のバス路線については利用が拡大している。活動実績は作成部数を確実に配布しており有効活用している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		路線バス再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」において、民間バス等への支援を始めとする市の財政負担額については、平成27年度額を基本として現状を上回らないことを目標として掲げており、再編の実施期間である令和2年度までに、市の財政負担額について一定の抑制を図りつつ、最大限効率的な再編を行うこととしている。 路線バス利用者数の変動については、他事業も含めた複数の要因によるものであるが、近年は、一部路線で利用者数が増加しており、本事業の実施も一定の効果があつたと考えられる。	
今後の課題及び方向性		引き続き継続して実施していくが、現行路線の維持と同時に利用促進や他の交通手段への転換も積極的に展開する必要がある。さらに事業者への支援のあり方についても平行して検討する必要がある。 平成25年度からそれぞれ別々に作成していた路線図(マップ)と時刻表が一体となったものを作成し、一定の評価は得たものの、路線バスの利用はなじみが薄いと分かりにくい面もあり、高齢者や観光客に対して、さらにわかりやすく発信できるよう工夫する必要がある。また、バス利用者に対してより効果的な情報発信ができるよう、時刻表に料金表を表示するQRコードを掲載したり、案内観光・交通案内アプリ「森の京都NAVI」のダウンロードの案内を掲載したりし、ICTによる効果的な情報発信を引き続き検討していく。 本事業においては、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画等の各項目の実施も推進していく必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課									
	作成責任者	山中 忠雄									
	事業名	敬老乗車券事業									
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 120168	決算付属資料 82	頁			
	施策体系	施策コード 030202	施策名	利用しやすいバス交通を確保する							
	開始年度	平成25年度									
	終了予定年度	令和元年度									
	関連計画等	福知山市地域公共交通網形成計画									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の通院や買い物等の外出を支援することによって、公共交通の利用促進を図ることを目的とする。									
	対象者	75歳以上の市民	対象者数	14,327	単位あたりコスト	1.1					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	市内在住の75歳以上の高齢者を対象に、路線バスや京都丹後鉄道の乗車券1冊3,000円分を500円で購入できる敬老乗車券(100円券30枚)として販売する。ただし、購入は、1人につき同年度内に3冊まで(免許返納者は5冊まで)に制限している。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費				
	負担金補助及び交付金	敬老乗車券を使用した額に対する運業者への負担金				10,921					
	賃金	臨時職員賃金				1,619					
	需用費	消耗品費・印刷製本費				394					
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	12,293	14,493	13,252	10,171	20,572					
		②補正予算			0							
		③流充用額	△ 1,182	△ 1,528	36							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0	0	0					
		次年度繰越		0	0	0	0					
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	8,538	7,519	8,613	6,078	7,576					
		国支出金	0	0	0	0	0					
		府支出金	0	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0	0					
		その他特財	2,573	5,446	4,675	4,093	12,996					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	いきいきシルバーエンジョイ事業(みらい戦略一括交付金)	種類	府支出金	実績金額	4,576	決算付属資料	22	頁		
		特財名称	敬老乗車券事業基金繰入金	種類	過疎基金繰入金	実績金額	2,372	決算付属資料	36	頁		
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.26/0	0.26 / 0	0.28 / 0	0.28 / 0						
⑤概算人件費		2,080	2,080	2,240	2,240							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		13,191	15,045	15,528	12,411							
⑦執行額		10,643	12,259	12,934								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		95.8%	94.6%	97.3%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		敬老乗車券販売者数	人	1,502/1,500	1,450/1,500	1,212/1,500	/ 1500	1,500
	市民1人あたりの年間路線バス利用回数	人	6.8/7.0	7.6/7.0	7.3/7.0	/ 7.0	7.0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		敬老乗車券販売冊数	冊	4,083/4,000	3,858/4,000	3,272/4,000	/ 4,000	4,000
		単位あたりコスト		2.6	3.2	4.0		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	公共交通の維持・確保が社会問題となっている中、利用促進策である本事業の優先度は高い。また、福知山市は多くの運行事業者が存在することから、行政以外では統一的な実施が困難である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	他市事例を研究した上で、年齢制限を設けるとともに、利用者の裾野を広げることを目的に購入制限を設けており、日常的利用者の単なる運賃補助とならないように工夫している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	敬老乗車券の利用に対する運行事業者への負担額よりも、運行事業者の収支欠損分補助額の減少の方が大きく、有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年度より敬老乗車券の使用期限が単年度となったため、下半期の販売冊数が例年と比べて大幅に減少した。しかし平成25年度の事業開始から着実にバス利用者数の拡大につながっている。		
今後の課題及び方向性	他市における同様の事業については福祉施策として実施しているものがほとんどであり、本市においても、現在の公共交通の利用促進という視点から、移動困難者の移動手段を確保するという福祉視点の事業として、今後制度内容の見直しを検討する。		

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	制度改正により経常経費である負担金が10,169千円増加しているが、同時に敬老乗車券の販売価格を500円/冊から1,500円/冊とすることで、歳入が1,750千円から10,602千円へと8,852千円増額している。ただし、今後の協議の中で制度改正が保留される可能性もあり、その場合は今年度と同規模の予算要求となる。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充